

モンゴルにおけるシミュレーション補助デバイスを活用した新生児蘇生法研修導入事業3年計画の3年目

1. シミュレーション教育補助デバイスを活用した新生児蘇生研修の導入

2. エレコム社が開発した安価で効果の高い新生児蘇生シミュレーション教育機器を活用し、日本周産期・新生児学会新生児蘇生法（NCPR）委員会と連携し、モンゴル周産期学会と、インストラクターの養成・能力強化研修及び新生児蘇生法に係るガイドラインや教材の策定能力強化、研修事業管理体制整備のための本邦研修及び専門家派遣を行う。

3. 2026年度末までに全国21県にインストラクターが育成され、周産期医療従事者の75%以上が新生児蘇生法研修を受講する。新生児蘇生法研修管理委員会が設置され、インストラクターや研修が管理される。新生児蘇生法ガイドラインや教材が更新、開発され、関係者に配布される。当該機器を使った新生児蘇生法研修が国家研修プログラムに導入され全国に展開される。

